

2008年1月1日～2017年12月31日の間に川崎医科大学附属病院  
で肺癌と診断され、手術を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名：病理病期 IB 期非小細胞肺癌切除後の補助化学療法の有用性に関する  
後ろ向き研究

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2008年1月1日～2017年12月31日の間に、当院において肺癌と診断され手術を受けられた患者さんを対象にして、病理病期 IB 期の非小細胞肺癌の手術後に補助化学療法を行うことの有用性について後ろ向きの研究を実施します。

研究期間は、倫理委員会承認日～2019年3月31日の予定です。

本研究の目的は、現時点でまだ有用性が確立されていないIB期の非小細胞肺癌の術後補助化学療法の有用性を検証し、今後の前向き試験の実施に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。

本研究は診療録データ（年齢、性別、肺癌組織型、腫瘍の大きさ、補助化学療法の実施の有無、使用した薬剤、予後）を用いて行う研究ですので、患者さんに新たな侵襲を加えるものではありません。また、患者さんの個人情報には匿名化された状態で解析しますから、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですので下記の問い合わせ先にご相談下さい。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究にかかる費用はなく、また、この研究を実施する関係者には奨学寄付金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し適正に管理されています。研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。

**【問い合わせ先】**

担当者：所属 呼吸器外科学 職名 教授 氏名 中田昌男

TEL：086-462-1111（内線 25519）

FAX：086-464-1124

E-mail：：gts@med.kawasaki-m.ac.jp